

# 都市ビジネスコースシンポジウム

## AIマーケティングの発展とその課題 世界最高峰のAI/CRMを創る

# 11.15

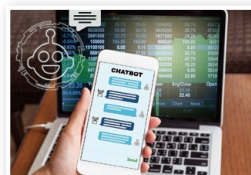
FR 18:30~21:00

@大阪駅前第2ビル6F 大阪市立大学梅田サテライト

2018年はAI元年といわれており、大企業のAI導入が急速に進み始まりました。しかし大阪経済圏ではその導入が遅れている感が否めません。とくに中小企業の導入例は少なく、成功事例もあまり多くありません。そこでAIとマーケティングに関するシンポジウムを開催することになりました。近年のマーケティング領域におけるMAやCRM及びAIの導入の基礎理論と実践事例を廣見剛利氏を中心に分かりやすくお話しいたします。



事前申込不要  
参加自由  
無料



### 講師紹介



基調講演

**早川和輝**

Kazuki Hayakawa

salesforce

株式会社セールスフォース・ドットコム  
salesforce.com  
プロダクトマネージャー  
Product Manager Specialist Japan

2019年7月から日本のProduct Managerを担当。Salesforceプラットフォームを担当し、AI製品やマップやB2Bコマース、Consumer Goods Cloudなどの最新の製品のGo-To-Marketや、ローカリゼーション、プロダクトオーナーを務める。2018年には、マーケティング本部のプロダクトマーケティングマネージャーとしてEinsteinを担当。SalesforceのAI Einstein全般の製品オーナーを務める。2017年にソリューションエンジニア通信業界を担当し、その中でAI製品であるEinsteinのスペシャリストとして社内で認定される。2016年に株式会社セールスフォース・ドットコムに新卒として入社。筑波大学大学院でコンピューターサイエンスの修士号を取得。



事例講演

**廣見剛利**

株式会社マックスヒルズ 第一カンパニーカンパニー長。  
株式会社マーケティングデザイン代表取締役社長。  
一般社団法人日本マーケティングマネージャー協会代表理事。  
著書に「集客の方程式」(共著)がある。



司会

**近勝彦** (都市経営研究科教授)

広島大学大学院生物圏科学研究科博士後期課程単位取得退学後、小樽商科大学、島根県立大学などを経て現職。その間、東京大学社会情報研究所、北東アジア地域研究センター、科学技術振興機構の研究員を歴任。現在の研究対象は情報経済論、情報社会論、情報経営論。著書論文としては『IT資本論』、『web2.0的成功学』、『経験の社会経済』等。